

- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二はんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくに二きようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三はんめのマスから書き、あたまをそらえましよう。

() 月 日 曜日

世界最高のたき

神山小学校 六年 森下 かい

「い

ぼくは、夏休みお母さんたちと縄文杉発見五

十周年きねんスタンプラリーをした。くりお

方面かいまちった。ものすごく暑くて大川の

たきにすずみに行った。少し近づくだけで

「すずしいし。

と声に出してしまいわうだった。そしてま

前に

「すずしいし。

とうとう声に出してしまった。大川のたきは、

すずしいだけびびるきねいびるして水が流れ

落ちた時の

「バシャーソ。

という音の大きさがすごかった。ぼくは、

今まで何回も行ったことがあるけどいついっ

てもすずしくてきれいで大はくかだ。ぼくは、

大川のたきがキラキラのたきやリスギン

なごいまある自然までが、ものすごく先の未

- 4 、と。は、それぞれ一字にぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しようは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごとくにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、このきようも二ばんめのマスから書き、あたまをえましよう。

(月 日 曜日)

来まびのこつこほしいと思つた。とくに大川
 のたきは、みんなが、いつになつても
 っすずみに行こう。
 といつて気がるにすずみに行つて、
 っすずしいし、きれいだし、はくかもあるし、
 世界最高のたきだ。
 と思えるような大川のたきであつてほしいと
 思つた。なのびすごく大事なものだと思つた。
 だが、このまこれから自然を守つていこうと
 思つた。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたと「るは、」の中に入れてきようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)

